

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画									
学部		高等部 職能開発科	学年		1年	学習グループ	A組(10人)	教科等名	理科
年間授業時数		38		使用教室	2B教室			使用教科書	くらしに役立つ理科（東洋館出版社）
曜日・校時 担当教員		火曜日	3～4校時		MT	別所哲徳	ST		
					MT		ST		
ね ら い	(1)	人の体の仕組みや働きなどについての理解を深める。							
	(2)	科学的な見方や考え方を養う。							
	(3)	自然を大切にすることを育てる。							
学期	単元名		月	時数	主な学習内容		ねらい		手だて
1 学 期	自然とくらし		4	2	・オリエンテーション		・学習の進め方やねらいを知る。		・正確な情報を見て簡単に理解できるような教材を活用する。
			5	4	・植物・昆虫の直写		・図を書き体の仕組みやつくりを理解する。		
							・昆虫の体の共通性や多様性を理解する。		
2 学 期	便利なくらし 1 物質		6	4	・昆虫や動物の特徴が人間の生活に役立てられていることを知る。				・図を書く抵抗感を減らすため、トレース紙に手本の図を直写する。
			7	2	・物質は原子・分子からできている		・物質が小さな粒子でできていることを知る。		
							・空気中にある物質を構成する元素を指摘できる。		
	9	2	・分子模型の作成		・身の回りにある物質の特徴を知る。		・興味や関心を喚起できるよう、安全に留意しながら、可能な範囲で実物に触れ、特徴を確かめる。		
					10			6	
3 学 期	安全に暮らすために		11	4	・災害から身を守る		・地震や台風などの災害について知る。		・放送番組や東京防災を資料とし、災害から身を守ることを具体的に考えられるようにする。
	便利なくらし 2 エネルギー・機械		12	4			・災害から身を守る方法を知る。		
							・登下校ルート上の避難場所を知る。		
3 学 期	便利なくらし 3 薬品・医薬品について		1	2	・身の回りの機械 ・発電機で発電する		・発電機の仕組みと発電のについて知る。		・発電機で電気を作ったり、電池を作ったりするなど物づくりや実験を行う。
			2	4	・酸性、アルカリ性 ・身の回りの生活用薬品		・酸性、アルカリ性について知る。		
							・身の回りの生活用薬品について知る。		
3 学 期			3	4	・身の回りの医薬品 ・SDGsについて学ぶ		・身の回りの医薬品について知る。		・身近な医薬品について調べる。
							・一年間の学習の成果を確認する。		

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画										
学部		高等部 職能開発科		学年	1年	学習グループ	B組(10人)	教科等名	理科	
年間授業時数		38		使用教室	2B教室				使用教科書	くらしに役立つ理科（東洋館出版社）
曜日・校時 担当教員		火曜日	3～4校時		MT	別所哲徳	ST			
					MT		ST			
ね ら い	(1)	人の体の仕組みや働きなどについての理解を深める。								
	(2)	科学的な見方や考え方を養う。								
	(3)	自然を大切にすることを育てる。								
学期		単元名		月	時数	主な学習内容		ねらい		手だて
1 学 期	自然とくらし		4	2	・オリエンテーション ・植物・昆虫の直写		・学習の進め方やねらいを知る。 ・図を書き体の仕組みやつくりを理解する。 ・昆虫の体の共通性や多様性を理解する。 ・昆虫や動物の特徴が人間の生活に役立てられていることを知る。		・正確な情報を見て簡単に理解できるような教材を活用する。 ・図を書く抵抗感を減らすため、トレース紙に手本の図を直写する。	
			5	4						
			6	4						
2 学 期	便利なくらし 1 物質		7	2	・物質は原子・分子からできている ・分子模型の作成		・物質が小さな粒子でできていることを知る。 ・空気中にある物質を構成する元素を指摘できる。 ・身の回りにある物質の特徴を知る。		・単元の導入で動画「Power of Ten：10 ⁿ 」を視聴する。 ・モデルを使って分子原子について考えられるようにする。 ・興味や関心を喚起できるよう、安全に留意しながら、可能な範囲で実物に触れ、特徴を確かめる。	
			9	2						
			10	6						
	安全に暮らすために		11	4	・災害から身を守る		・地震や台風などの災害について知る。 ・災害から身を守る方法を知る。		・放送番組や東京防災を資料とし、災害から身を守ることを具体的に考えられるようにする。	
			便利なくらし 2 エネルギー・機械							
3 学 期	便利なくらし 3 薬品・医薬品について		1	2	・身の回りの機械 ・発電機で発電する		・発電機の仕組みと発電のについて知る。		・発電機で電気を作ったり、電池を作ったりするなど物づくりや実験を行う。	
			2	4	・酸性、アルカリ性 ・身の回りの生活用薬品		・酸性、アルカリ性について知る。 ・身の回りの生活用薬品について知る。		・一人一人が実験を行えるようにする。 ・身近な生活用薬品について調べる。	
			3	4	・身の回りの医薬品 ・SDGsについて学ぶ		・身の回りの医薬品について知る。 ・一年間の学習の成果を確認する。		・身近な医薬品について調べる。 ・一年間で学んだことを発表する。	

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画									
学部		高等部 職能開発科		学年	2年	学習グループ	A組(10人)	教科等名	理科
年間授業時数		35		使用教室	2B教室			使用教科書	くらしに役立つ理科 (東洋館出版社)
曜日・校時 担当教員		月曜日	4時間目 (11:30～12:20)		MT	別所哲徳	ST		
					MT		ST		
ね ら い	(1)	人の体の仕組みや働きなどについての理解を深める。							
	(2)	科学的な見方や考え方を養う。							
	(3)	自然を大切にすることを育てる。							
学期	単元名		月	時数	主な学習内容		ねらい		手だて
1 学 期	健康・快適・安全に暮らすために		4	3	・1年の復習 お金は磁石につくか 物質は原子でできている。 発電するには ・モーターを作ろう 単極モーターの製作		・1年で学んだことを再度確認する。 ・磁石とコイルと電流を使ってモーターを回転させる。		・動画やコンテンツで振り返る。 何を学んでかを説明する。 ・装置を使って説明する。 ・二人組や個人で機器を使って実験できるようにする。
			5	2	・クリップモータの製作				
	自然とくらし 1 生物		6	4	・微小な世界の観察		・顕微鏡の操作に慣れる。 ・微小な世界を観察する。		・様々な微小な世界を観察し、顕微鏡の操作に慣れる。 ・微生物が発酵や抗生物質と関わりがあることが分かるよう画像や動画を示す。
			7	3	・食物連鎖(ちりめんの観察) ・1学期のまとめ		・生物の世界は、互いにつながり物質が循環することによって成り立っていることを知る。 ・海洋プラスチックについて知る		
2 学 期	自然とくらし 2 地球と自然		9	2	・地球の環境問題 12月		・様々な環境問題について調べ、環境保全の大切さを知る。		・環境問題として、大気汚染、海や川の汚染、オゾン層の破壊、地球の温暖化を扱う ・地震のメカニズムや火山のメカニズムについても扱う。 ・東日本大震災(プレート型)、阪神・淡路大震災(直下型)の揺れの特徴や被害についても触れる。 ・補助教材を活用し、理解を深める。 ・気象については、季節による気象の変化と特徴を扱う。
			10	3	・地震や台風などの災害から命を守る(9月, 10月)ちりめんを観察する		・自然災害に対応する避難の仕方を考える。		
			11	1	・地球と天体		・地球の様子、月、太陽や星の動きを知る。		
			12	5	・気象 ・2学期のまとめ		・気圧の変化と天気の変化について理解する。 ・季節による気象の変化と特徴を知る。		
3 学 期	健康・快適・安全に暮らすために		1	3	・気象		・季節による気象の変化と特徴を知る。		・放送番組や東京防災を資料として活用し、より身近に考えられるようにする。 ・一年間のまとめを行い、発表する時間を多く設定する。
			2	4	・気象		・自然災害に対応する避難の仕方を考える。		
			3	5	・SDGsについて学ぶ ・一年間のまとめ		・一年間のまとめの成果を確認する。		

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画									
学部		高等部 職能開発科		学年	2年	学習グループ	B組(10人)	教科等名	理科
年間授業時数		35		使用教室	2B教室			使用教科書	くらしに役立つ理科 (東洋館出版社)
曜日・校時 担当教員		月曜日	3時間目 (10：35～11：25)		MT	別所哲徳	ST		
					MT		ST		
ね ら い	(1)	人の体の仕組みや働きなどについての理解を深める。							
	(2)	科学的な見方や考え方を養う。							
	(3)	自然を大切にすることを育てる。							
学期	単元名		月	時数	主な学習内容		ねらい		手だて
1 学 期	健康・快適・安全に暮らすために		4	3	・1年の復習 お金は磁石につくか 物質は原子でできている。 発電するには ・モーターを作ろう 単極モーターの製作		・1年で学んだことを再度確認する。 ・磁石とコイルと電流を使ってモーターを回転させる。		・動画やコンテンツで振り返る。 何を学んでかを説明する。 ・装置を使って説明する。 ・二人組や個人で機器を使って実験できるようにする。
			5	2	・クリップモータの製作				
	自然とくらし 1 生物		6	4	・微小な世界の観察		・顕微鏡の操作に慣れる。 ・微小な世界を観察する。		・様々な微小な世界を観察し、顕微鏡の操作に慣れる。 ・微生物が発酵や抗生物質と関わりがあることが分かるよう画像や動画を示す。
			7	3	・食物連鎖(ちりめんの観察) ・1学期のまとめ		・生物の世界は、互いにつながり物質が循環することによって成り立っていることを知る。 ・海洋プラスチックについて知る		
2 学 期	自然とくらし 2 地球と自然		9	2	・地球の環境問題 12月		・様々な環境問題について調べ、環境保全の大切さを知る。		・環境問題として、大気の汚染、海や川の汚染、オゾン層の破壊、地球の温暖化を扱う ・地震のメカニズムや火山のメカニズムについても扱う。 ・東日本大震災(プレート型)、阪神・淡路大震災(直下型)の揺れの特徴や被害についても触れる。 ・補助教材を活用し、理解を深める。 ・気象については、季節による気象の変化と特徴を扱う。
			10	3	・地震や台風などの災害から命を守る(9月, 10月)ちりめんを観察する		・自然災害に対応する避難の仕方を考える。		
			11	1	・地球と天体		・地球の様子、月、太陽や星の動きを知る。		
			12	5	・気象 ・2学期のまとめ		・気圧の変化と天気の変化について理解する。 ・季節による気象の変化と特徴を知る。		
3 学 期	健康・快適・安全に暮らすために		1	3	・気象		・季節による気象の変化と特徴を知る。		・放送番組や東京防災を資料として活用し、より身近に考えられるようにする。 ・一年間のまとめを行い、発表する時間を多く設定する。
			2	4	・気象		・自然災害に対応する避難の仕方を考える。		
			3	5	・SDGsについて学ぶ ・一年間のまとめ		・一年間のまとめの成果を確認する。		

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画										
学部		高等部 職能開発科		学年	3年	学習グループ	A組(9人)	教科等名	理科	
年間授業時数		35.5		使用教室	2B教室			使用教科書	くらしに役立つ理科（東洋館出版社）	
曜日・校時 担当教員		月曜日	2時間目（9：40～10：30）		MT	別所哲徳	ST			
					MT		ST			
ね ら い	(1)	人の体の仕組みや働きなどについての理解を深める。								
	(2)	科学的な見方や考え方を養う。								
	(3)	自然を大切にすることを育てる。								
学期		単元名		月	時数	主な学習内容		ねらい		手だて
1 学 期	健康・快適・安全に暮らす ために		4	3	・学習の進め方 ・煮干しの解剖 ・カエルの解剖（アプリ） ・人体モデル作り		・学習の進め方やねらいを知る。 ・図を書き体の仕組みやつくりを理解する。 ・人体模型を作製し、体の主な器官のつくりや働きを知る。		・正確な情報を見て簡単に理解できるような教材を活用する。	
			5	5					・図を書く抵抗感を減らすため、トレース紙に手本の図を直写する。	
	健康なくらし 1 人体とけが・病気の予防		6	4	・消化の働き ・呼吸の働き		・食べ物を消化する臓器を知る。（胃、小腸、大腸の理解） ・呼吸の働きを知る。		・臓器などの模型作りを行い、理解を深める。 ・主な器官とその働きを調べる。	
			7	2	・血液の流れ ・骨と筋肉の働き		・血液の流れについて知る。 ・骨と筋肉の働きについて知る。		・消化や呼吸の学習について分かりやすい動画を視聴する。 ・心臓や内臓の実物を観察をする。 ・腕を曲げるときの筋肉模型を作り、理解を深める。	
9			4	・病気とその予防法		・病気の予防法を知り、自分でできる優先順位を考える。				
2 学 期	2 食事と健康		10	5	・地震や台風などの災害から命を守る方法		・災害から命を守る方法を知る。		・命を守る観点から、防災についての学習を行う。 ・放送番組や東京防災を資料として活用し、より身近なこととして考えられるようにする。	
			11	3 ・ 5	・けがとその処置 ・心肺蘇生法や応急手当		・けがの処置における手順を理解する。 ・心肺蘇生法や応急手当の仕方を身に付ける。		・予防法や処置法を知らべる。 ・実習や演習を通して身に付ける。	
			12	3	・食品の栄養素について ・食品がくさる、いたむとは？ ・SDGsについて		・食品の栄養素について知り、適切な食習慣を考える。 ・食品の適切な管理の仕方を知る。		・身近な食品の表示や管理について調べる。 10・11・12月を統合して単元の内容を並行して取り組む。	
3 学 期	科学の楽しみ方		1	3	・冬休みの宿題のまとめ		・理科への興味関心を高める。 ・物づくりをとおして学んだ原理が生かされていることを体感する。		・身の回りのことや生活にかかわるものの中から、作るものを決める。 ・時事的な話題にも触れる。	
			2	2	・学んだことを生かす物づくり		・手順や指示に沿って簡単なものづくりや実験を行うことができる。 ・学んだ原理が身近なものに生かされていることを体感する。		・科学技術が日常生活や社会を豊かにしていること、時事的な話題にも触れる。 ・理科で学習したことが様々な職業と関係していることに触れる。	
	健康・快適・安全に暮らす ために		3	1	・SDGsについて		・三年間の学習の成果を確認する。		・三年間の学習を通してSDG'sとの関連で自分の関心のある課題を捉え、どのようなアプローチをしたかをパワーポイントの資料を作って発表する。	

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画									
学部		高等部 職能開発科		学年	3年	学習グループ	A組(9人)	教科等名	理科
年間授業時数		35.5		使用教室	2B教室			使用教科書	くらしに役立つ理科（東洋館出版社）
曜日・校時 担当教員		月曜日	2時間目（9：40～10：30）		MT	別所哲徳		ST	
					MT			ST	
ね ら い	(1)	人の体の仕組みや働きなどについての理解を深める。							
	(2)	科学的な見方や考え方を養う。							
	(3)	自然を大切にすることを育てる。							
学期	単元名		月	時数	主な学習内容		ねらい		手だて
1 学 期	健康・快適・安全に暮らす ために		4	3	・学習の進め方 ・煮干しの解剖 ・カエルの解剖（アプリ） ・人体モデル作り		・学習の進め方やねらいを知る。 ・図を書き体の仕組みやつくりを理解する。 ・人体模型を作製し、体の主な器官のつくりや働きを知る。		・正確な情報を見て簡単に理解できるような教材を活用する。
			5	5					・図を書く抵抗感を減らすため、トレース紙に手本の図を直写する。
	健康なくらし 1 人体とけが・病気の予防		6	4	・消化の働き ・呼吸の働き		・食べ物を消化する臓器を知る。（胃、小腸、大腸の理解） ・呼吸の働きを知る。		・臓器などの模型作りを行い、理解を深める。 ・主な器官とその働きを調べる。
			7	2	・血液の流れ ・骨と筋肉の働き		・血液の流れについて知る。 ・骨と筋肉の働きについて知る。		・消化や呼吸の学習について分かりやすい動画を視聴する。 ・心臓や内臓の実物を観察をする。 ・腕を曲げるときの筋肉模型を作り、理解を深める。
2 学 期	2 食事と健康		9	4	・病気とその予防法		・病気の予防法を知り、自分でできる優先順位を考える。		
			10	5	・地震や台風などの災害から命を守る方法		・災害から命を守る方法を知る。		・命を守る観点から、防災についての学習を行う。 ・放送番組や東京防災を資料として活用し、より身近なこととして考えられるようにする。
			11	3 ・5	・けがとその処置 ・心肺蘇生法や応急手当		・けがの処置における手順を理解する。 ・心肺蘇生法や応急手当の仕方を身に付ける。		・予防法や処置法を知らべる。 ・実習や演習を通して身に付ける。
			12	3	・食品の栄養素について ・食品がくさる、いたむとは？ ・SDGsについて		・食品の栄養素について知り、適切な食習慣を考える。 ・食品の適切な管理の仕方を知る。		・身近な食品の表示や管理について調べる。 10・11・12月を統合して単元の内容を並行して取り組む。
3 学 期	科学の楽しみ方		1	3	・冬休みの宿題のまとめ		・理科への興味関心を高める。 ・物づくりをとおして学んだ原理が生かされていることを体感する。		・身の回りのことや生活にかかわるものの中から、作るものを決める。 ・時事的な話題にも触れる。
			2	2	・学んだことを生かす物づくり		・手順や指示に沿って簡単なものづくりや実験を行うことができる。 ・学んだ原理が身近なものに生かされていることを体感する。		・科学技術が日常生活や社会を豊かにしていること、時事的な話題にも触れる。 ・理科で学習したことが様々な職業と関係していることに触れる。
	健康・快適・安全に暮らす ために		3	1	・SDGsについて		・三年間の学習の成果を確認する。		・三年間の学習を通してSDG'sとの関連で自分の関心のある課題を捉え、どのようなアプローチをしたかをパワーポイントの資料を作って発表する。